

第2回 京丹後市社会教育委員会議（会議録）

日 時：令和5年11月22日(水)午後1時30分～3時30分

会 場：弥栄地域公民館 2階 会議室

出 席：中山・菅生・山副・野村・藤原・折戸・和田・室井

欠 席：田中・稲本・橋垣・中江・藤村・岩田・上田

傍聴人：0人

事務局：松本教育長・引野教育次長・安達生涯学習課長

下戸スポーツ推進室長・亀田図書館長・坪倉補佐

平井主事

次 第

1. 開 会

2. 開会あいさつ

京丹後市社会教育委員会議議長

京丹後市教育委員会教育長

3. 協議事項

- (1) 令和6年度社会教育・社会体育関連予算について（資料No1）
- (2) 今後の図書館の在り方について（資料No2）
- (3) 今後の高齢者大学の在り方について（資料No3）
- (4) 新たな地域コミュニティにおける地区公民館活動について（資料No4）

4. 報告事項

- (1) 令和5年度「丹後地方社教委連だより」について
編 集 委 員：山副委員
原稿投稿者：和田委員

5. その他

6. 閉会あいさつ

京丹後市社会教育委員会議副議長

【会議録】

開会

事務局

只今から、令和5年度第2回京丹後市社会教育委員会会議を開催します。その前に今日ご覧の皆さん以外でちょっと欠席をお聞きしております。本日、田中委員様、稲本委員様、藤村委員様、岩田委員様、上田委員様、橋垣委員様、中江委員様、ちょっと急遽の方もございました。今日はこのメンバーで進めさせていただきたいと思っております。よろしく願いいたします。それでは開会にあたりまして、中山議長様よりご挨拶お願いいたします。

開会挨拶

中山議長

京丹後市社会教育委員会 議長

本日は第2回京丹後市社会教育委員会会議にご出席していただきありがとうございます。今年度は、コロナの位置付けがインフルエンザ並みの5類に移行してから、意識の上では、本来の対応が確実に変化してきます。各自が感染対策を心がけながら社会活動を元に戻すことは人と人の繋がり、直接の繋がりを大切にする社会教育にとっていいことだと思います。午前中の研修では、弥栄町の施設見学と社会教育委員としてどう行動していかなければならないか、グループ討議を熱心にしていただきまして本当にありがとうございました。また昨日の京都府の研修会では、2日に1回以上講演依頼がある滋賀県野洲市の社会教育委員高木和久さんの実践に基づく講演とワークショップの指導がありました。最後の府の会長副会長の挨拶で、今日の話为社会教育委員になった時に聞いていれば社会教育委員としての実績が変わったと言われたように視点の変換を考えさせられました。来年度の近畿大会は、京都市のテルサで開催されます。コロナ以後参加者が少なくなっています。来年は全員参加を目指して欲しいです。それでは午前中の研修に続きまして午後は会議です。どうかよろしく願います。

開会挨拶

松本教育長

京丹後市教育委員会 教育長

皆さんこんにちは。本日は第2回目の社会教育委員会会議を開催しましたところ本当にお忙しい中ご出席いただきありがとうございます。先ほど議長様からもありましたように午前中は視察、さらにはグループ討議ということで大変お世話になり、ありがとうございました。今日欠席の方も多いため残念ですが、なかなかこういう機会が京丹後市教育委員会が今重点的に進めているようなこと、重点と考えて積極的に取り組むというような事業についての一端をご紹介させていただこうということで、少しお時間をいただいでご説明をさせていただきます。

直接社会教育、社会体育とは関係ないかもしれませんが、どういう方向で教育を今進めようとしているかということ、ご理解いただく一端となればと思います。

京丹後市はグローバルな社会を生き抜く人材育成のための様々な取組事業を昨年度ぐらいから熱心に取り組んでおるわけですが、特に昨年度から始めている Kyotango Sea Labo という取り組みをしております、海のラボという意味でございまして、そうした取組を皆さんにご紹介したいと思います。

この Kyotango Sea Labo という事業が世界の大学ランキングトップ20、東大も50位以内にも入っていないという中での世界の20番目に入っているアメリカのスタンフォード大学とカナダのトロント大学の日本人研究者の方々と一緒になって進めている取組ですが、どんなことをしているかという前に京丹後市に住む中学3年生と高校2年生、本年度は33名を希望者多くの中からセレクトさせていただきまして33名に参加いただいたわけです。

どんなことをしているかと言いますと、市内にある特色のある事業者さんたち、伝統的なちりめんとかですね、さらには最先端の機械金属であったり、移住してきて起業されている

方とか、様々な事業者の皆さんの工場であるとか事務所などを33名が見学しまして、事業者の皆さんからその事業についての現状とか課題などをお聞かせいただきまして、その課題について中高生たちが自分なりに新たな発想でその課題を解決していくための方策をグループで考えて、そしてその考えをもとに解決モデルとして形にしたものを作っていきというよ
うな事業でして、そうした解決策ができたときに解決策を作って事業者の皆さんに今度はそのSea Laboの方に来ていただいて、ワークショップに来ていただいてその解決策をこんな
ふうと考えているっていうのを発表するプレゼンするというような取組です。

なぜこれがグローバル人材の育成に関わるのかというと、そうした資質能力そういう課題解決をしていく資質能力というのは、グローバルな社会でも大事ですけども、それだけではなくて、事業者とのやりとりは日本語で主に行うんですけども、この子どもたちと研究者の皆さんがワークショップで一緒にやっていく際は、ほぼ英語を使って取組を進めるということ
で、発表も英語でのプレゼンをするというような、そうした取組を行いますので、そうした課題解決の力をつけるだけではなくて、英語力も合わせて高めていこうという取組です。ただ中高生ですからいくら英語の得意な子たちと言ってもなかなか英語の力はつきにくい
ということもあるので、グループに1人、アメリカの大学や日本の名だたる大学から来ていただいたバイリンガルな、つまり英語も日本語もどちらも堪能な大学生をボランティアとして、そのグループの中に一緒に入っていただいて、英語の支援であったり課題解決のための
方策の支援だったりをしていただくというような取組をさせていただいているところであります。

こうした取組をしております、なぜこれを今日皆さんにご紹介するかと言いますと今度の12月号の広報京丹後の表紙と2ページ目3ページ目を、この事業の説明がついておりますので、是非とも京丹后市として今どんなことに熱心に取り組んでどんな力をつけようとしているのかを委員の皆様にも知っていただくだけではなくて、是非ともこうした活動の中で地域の方々にもお伝えいただけたら有難いなと思っ
て今日は紹介をさせていただきました。

そして、こうした事業において中高生が英語の力をつけるだけではなくて、今求められるそういう答えのない社会の中でどう課題を解決していくのかっていうような力を求めるためのリーダーとして育てていただいて各学校や、やがて大学出て地域に戻ってきた場合そうしたリーダーとして育ててくれれば有難いなと思っ
て、そうした取り組みを進めているところ
です。

そういうところが社会教育の部分でも広がっていて、いろんな部分で幅の広い子どもたちの力が、社会の中で活かされればなと思っ
ているところ
です。

本日は様々な例年通りですけども、予算関連のことや図書館や高齢者大学のあり方についてもご協議いただくこととしておりますので、本日はどうぞよろしくお願
いいたします。

事務局 ありがとうございます。それでは議事に入ります。議事につきましては中山議長様に進行をよろしくお願
いいたします。

協議事項 (1) 令和6年度社会教育・社会体育関連予算について

議長 (1) 令和6年度社会教育・社会体育関連予算について事務局より説明をお願いします。

事務局 (事務局説明)

議長 ただいま事務局から説明がありましたけれども、ご意見ご質問等ありましたらよろしくお願
いします。どんなことでもいいと思います。

委員 21番の社会体育団体体育成事業ということで、一般社団法人に体育協会がなったということで活動の支援を行うというような形になっているんですが、町のところで言いますとこれまで地域公民館の中に体協の職員さんがおられて地区対抗のスポーツ競技等があったんですが、今年度からはなくなっているという。ただ住民の中にはやはりそういったことをやって欲しいと、というような要望があるんですが、今後そういうようなことが復活するということがあるのかどうかというのがお聞きしたいのが1点と、もう1点は25番スポーツイベン

ト推進事業なんです、ウルトラマラソンが9月の何日でしたかね。大変暑い中で何か死人が出るんじゃないかというような話がありまして、時期的にこの温暖化の中で今年は特別だったのかもわからないんですけども時期的にちょっとかなり過酷な状況、特に距離が長いというのもありましてその辺はどうなのかなという実施時期の問題ですね、その2点をちょっとお尋ねしたいと思います。

事務局

ご意見ありがとうございます。まず21番の社会体育団体育成事業の中のスポーツ協会さんの体制のところだと思います。今回法人化された時に、支部というのを解散しますということで、それはスポーツ協会さんの方のご判断でされている部分にはなります。

復活するかどうかというともう体制的にそういった仕組みにされているということあるので、支部の復活というのは基本的に支部としてはないと聞いております。

ただスポーツ協会もそれは懸念をされておりました。もともと地域での動きがやっぱり旧町が一緒になっているので、それぞれで支部ごとにやり方がいろいろと違ったり独自のものというのをされていまして、何とかそういったところを継続していけたらという思いはスポーツ協会さんも持っておられます。

市の方もそう思っています。また対策として提案されていたのは、各町に支部に代わるような団体を作ってもらえないだろうかという呼びかけはされたんです。今実際にはスポーツ協会にその登録を新たにされているそういった地域のことをするスポーツの団体というのは、今出来上がってはいないんです。ただお聞きしている大宮町に関しては、スポーツ協会には属しておられませんが、これまでの支部で動かれていた方々がそういった団体というのを作られてこれまでやっていた動きや、イベントをされているというふうには聞いております。スポーツ協会さんの方もまだ今後もその声かけはされていくというふうには聞いておるところです。今の状況としてはそういうようなところですし、21番でした。

次の25番のスポーツイベントに関しましてウルトラマラソンも、委員おっしゃる通りで非常に過酷な気温でした。2年連続です。昨年の大会でも非常に気温が高くてリタイアの数も多く、結局完走率は今回49%。40%台というのは、ウルトラマラソンは全国でされていますけれどもやっぱり低いということで、環境が非常に厳しかったということを表していると思います。

そういったことも想定もしまして、主管しているのはランナーズウェルネスという会社ですけども、そこも協議をしましてその対策はとっておりました。特に給水はしっかりと取ってもらえるように給水所をきちんと配置をしておりました。あとはスポーツナースと言いまして、スポーツ大会の対応に長けた知識とか技術を持った看護師さん10人ぐらいを新たに雇用してそういったグループをお願いをして、各エイドステーションに1名ずつ配置をしてあと本部にも配置をして連絡体制を本部に集中してそこから医師もいましたので、医師の指示を受けて動くようなそういった体制づくりは非常にしっかりとさせてもらいました。

今回は1名意識がちょっと混濁するような状況の方もありましたけれども、迅速な対応ができましたので大事に至らずということで、特に大事なことに至ったケースは今回なかったということで、ただ消防本部の方からも時期的なことはやっぱり非常に懸念を言われております。これ日程的に3連休で行っております。なかなか土日だけになると参加する方々も大会の実施の仕方としても大分変えないといけない部分もあって、それとの兼ね合いもありますけれどもやっぱりこの検討の内容かなというふうに課題には思っているところです。

中山議長

地域公民館ですけども、3、4年前から人材が減っています。特に峰山地域公民館によく行くんですけども、ほとんど1人か2人ぐらいしかおられないっていうか、1人ぐらいで対応されていたり、他の館よりすごい利用が多くて、その対応に人材が不足しているなって気がします。

それからもう一つ、高齢者大学からいきいきになるってことで、今60歳以上で年齢を下げていくわけですが、働いている人が多くて下げてもあんまり増えないんじゃないかなっていう気もします。個人的な意見ですが、高齢者大学の名前が懐かしく無くなるのが寂しいです。

中山議長
委員

その他もっとご意見ありましたらどうぞ。

障害者スポーツ。23番のところに、障害者スポーツの推進ってありますが、障害者団体の方の役を今いろいろしてしまして、例えば秋にある総合スポーツ大会で、障害者のなにか種目を入れて欲しいとか、そういうのを障害者団体としては思いがあって、そういう話を持って行かれたことも以前あるようには聞いているんですけど、随分前は車椅子駅伝をしたりしていたけど今、橋・川の補修の関係でできてないので、そこに交せてもらって何か障害者が参加できるスポーツがあったらええなあと思うんですけど、スポーツ推進委員の方々に障害者のスポーツのこの意識があるのかどうかよく分からないんですけど、なにかそういうことも考えていただけたら、以前車椅子駅伝をしている時はものすごい活気だったので、それが違う形でできたらいいなあっていう思いがあります。

それからもう一つ、さっき他の委員さんにも言っていたんですけど、先日大学駅伝が終わりましたうちも宿泊めました。今年からコースが変わって、宮津から出て久美浜を通らないんです。ちょっと前までは久美浜出発だったのでうちに泊まってもらってもすぐそこでよかったですけど、今は久美浜通らないけど久美浜に泊まっていて、どこを走るのって聞いたら丹後町の方を走るとか弥栄町の方を走るとかいう学生が泊っているんです。それで朝5時半にご飯を食べて行くんですけど、コースが変わったのもうちちょっと近くの宿泊体制に変えてもらえたら学生さんもちょっと楽なんじゃないかな、かわいそうだなと思いつつ今年は見送りました。以上でございます。

事務局

ありがとうございます。一つ目の障害者スポーツのところですか。私ども障害者スポーツの推進ということでこれ3番という番号がつけていまして課題に思っているところです。取り組みとしましても、例えば車椅子バスケットの方だとか今回も車椅子野球、ソフトボールの選手を呼んで啓発活動ということでやっぱり理解をしてもらおうという取り組みなどは毎年続けていっているところです。今委員おっしゃったみたいな総合スポーツ大会に、障害者の方も参加できるようなそういう枠であるとか、あと種目であるとかっていうところで言いますと、これは新たにスポーツ協会になられて、スポーツ協会も障害者の方のスポーツっていうのに力を入れたいということは仰っております、かねがねそういった障害者団体さんとのご意見だとか聞きたいというのは仰っておりますので、また後程そのお話をさせていただきたいなと思っております。本当に誰でも楽しめる、どなたでも楽しめるとか競技できるっていうスポーツっていうのはやっぱり求めていくっていうのが目標でして、そういった種目のことも含めてご相談させていただきたいなと思っております。あと大学駅伝本当にご心配をお掛けいたしました大きくコースが変わったということがあって、特に久美浜は通らなくなったということがあります。宿泊に関して私たちもその辺りで、宮津がスタートになったので宮津での宿泊が増えるのかなと思っておりました。実際のデータを持っているわけではないのですが、その主催者の学生連盟さんが、仲介業者さんとでやられているのもうちちょっと学生さんたちにそういった地理的な情報だとかそういうのが伝えられたらよかったのかなと思います。心配をして頂いていたわけですね。すいません。ありがとうございます。以上です。

中山議長
中山議長

ありがとうございましたその他ご意見ご質問ありましたらお願いします。

お礼ですけれども、社会体育施設や社会教育の施設のこの今年から免除団体っていうのがかなり増えまして、すごく助かっています。ありがとうございます。グランドゴルフでも借りるのに施設100円ですけれども、いちいち100円のために書かなくてはならないので、それが書かなくて良くなった。毎回助かっている、借りるだけ借りて貸していただけるので本当に嬉しくてたまりません。ありがとうございます。

協議事項 (2) 今後の図書館の在り方について

中山議長

他にありませんか。じゃあないようでしたら、協議事項(2)今後の図書館の在り方について、事務局より説明をお願いします。

事務局 (事務局説明)
 議長 今の説明について何かご意見ありましたら質問をよろしくお願ひします。
 委員 ありませんか。アンケート今やってみましたけど書きやすかったです。さっと書けます。
 事務局 アンケートの配布方法はどのように配布をされますか。
 事務局 配布方法は各図書館室に設置をする。表示もする。このQRコードを読み取れるようにする
 というようになります。数が少ないとなかなかアンケートのその目的が達成されないの
 でこれは検討の途中ですけれども、貸し出すときにこういったアンケートしています。ご協
 力お願ひします。というように積極的なアンケート回答を求められるかな、どうなかなと思
 っています。
 委員 答申の中で廃止という答申が出ているところで大宮と弥栄については、私は全住民に区を通
 じて配布をして頂ければ市民局へ持って行ってそこから各区へ行きますので、図書館まで持
 って行ってくださいとか言ってもなかなかそこまで集まらないと思うので、各区ぐら
 いに提出する様な形でしたら集まりやすいんじゃないかなと思います。やっぱりきち
 っと周知されて、廃止されてからそんなことだったのかみたいなことにならないよ
 うに、住民の意見をきちっと聞いていただくことが大事だと思います。
 それと図書館という場所は本を貸し出す、借りるということだけと違って居場所機能
 みたいなことも言われていますので、午前のグループ討議の中でもあったんですけ
 れども、やはりお金をかけなくても弥栄の場合でも、ロビーを少し病院に
 来られた方に限らず、バスが病院の所まで入ってきますので、どこからでも来
 られるわけではないですけど市営バスも走っていますので、住民の方がそこへ行
 って一定時間過ごせるような形の居場所機能みたいな、そういうことになればいい
 かなと。できれば廃止された後で、そんなことだったのかとならないように、先
 ほどのような形をとっていただけたら丁寧かなと思います。
 事務局 今の藤原副議長さんのご意見、確かにそうだと思って参考にさせていただきたいと思
 います。最初にありました特に、今回大宮と弥栄の方にとっては大切な問題になっ
 てくると思いますので、利用者だけでなく他の住民の方にもというのも我々も事
 前にそういうことも議論をしていました。
 今回はまず図書館、図書室を実際に利用されている方がどう思われているかをま
 ず把握をしてみまして、その結果を我々も分析をしながら次に弥栄町、大宮町
 の方中心に地域の方住民の方が、その結果も見えていただきながら、どうお
 考えかかっていう、二段階的に意見を把握させていただくようなことで進めて
 いったらどうかと今考えています。この考えについてはまたご意見があれば聞
 かせていただければと思います。
 中山議長 その他図書館の在り方についてご意見ありませんか。では、二段階の
 アンケートを取られるってということでご了承よろしくお願ひします。続いて
 次ってよろしいですか。

協議事項 (3) 今後の高齢者大学の在り方について

中山議長 続きまして協議事項 (3) 今後の高齢者大学の在り方について事務局より説明をお願ひしま
 す。

事務局 (事務局説明)

中山議長 ただいま説明していただきましたけれども高齢者大学の方がかなり変わってくるという提
 案がありました。何か質問や意見がありましたらお願ひします。6年前に初心者だった人た
 ちの作品が今現在、峰山地域公民館に行くたびに貼ってあるのでいつもすぐ上達して
 いるってうか、素晴らしい作品になっていて成果はかなりあります。だけど、文化祭
 って言われたように峰山町のだけしかわからないので全体がわかるって言ったらそれは
 嬉しいです。同じようなことをやっても僕は峰山しか行かないので、他町がど
 んなふうになっているのかって知る最後の学園祭ってのはかなり良い発想かな
 とは思いました。他に何かありましたら。昔はバス旅行があつてものすごい人
 気で、モミジの永観堂に行ったりとかだと殺到して、今もあるんですか。

事務局 網野では高齢者大学の中で、本当にしっかりとすごく立派なツアーが組まれてそれはもう自己負担をかなり出して頂いているんですが、そうやって行って頂いたりしております。

委員 対象者 18 歳以上の成人っていうと非常に良いことですが、これで人数が増えるかという中山議長さんも言われたように働く世代、一番出にくい世代ということなんで、平日・日中ということですね。夜間は考えてないことですね。それと講座でバスを使用する講座も非常にいいかなとほんまに思っています。例えば近隣に福知山の公立大学ありますので、そこも連携していただいて、もっと魅力的な講座を紹介してもらおうとか。あと身近なもので、例えば記者クラブみたいのが市の方でもあるでしょうし、そこからでも記者の広い目で見れるようなお話をしてもらおうとかなか発想を変えてもらって、ちょっと若い人でも楽しんでいけるような講座がしてもらえたらと思います。

事務局 ありがとうございます。本当に今この案では、今の公民館の体制ですね。館長、社会教育指導員そして事務補助員、3 人でやっている中で、土日とか夜間とかの対応がなかなかできなくて、ただ内容的にはもう一般の人でもそうやって魅力があって続けてみようかなと思えるような人に来てもらうようにできたらなと思っていますので、平日・日中というのはここには書いておるんですが今後ちょっとまたそういった部分で若者の方も参加しやすいようにするにはという部分は今後しっかりと検討させていただきたいなと思っていますので、今ご提案いただきました福知山公立大学さんとかそういうところとの連携は、しっかりとご意見も聞きながら、それで若い方がどんな講座を求めてられるのかとか記者クラブさんの方にもお話を聞いたりしながら、これもちょっと考えたり、本当に中身がいろんな方が聞いても楽しめるような内容の充実につなげられるように、今のご意見を参考にさせていただきたいと思います。

中山議長 他にありませんか。

委員 企画運営についてお尋ねするんですけども、先ほどのお話ですと、地域公民館の職員さんがそういうことになっておられるというようなことをお聞きしたんですが、以前網野でしたかの運営委員会とか、そういう形をとって企画とかかされているということをお聞きさせていただいたことがあるんですけども、その辺は各町の状況というのは、どうなんでしょうか。

事務局 基本的には高齢者大学の運営の基本となる部分は、地域公民館館長さんが主体となってそれぞれ企画運営をするんですが、網野町につきましてはそういった形で運営委員さんということでお世話になって運営委員さんが、いろんな会合も月々開いていただいて、高齢者大学の一般講座の時とかはもう皆さんが来て、その準備をしたり、展示の準備をしたり、閉講式も皆さんが来てこられて、あとはそういったツアーの計画で遠くの勉強をしに行こう言うときには下見をされたりとか、というような部分で網野町だけはそれで少し 500 円。運営の費用とうちの分とは別に 500 円徴収して、その中で運営委員会を回していただいていると。その支援する組織があるというような形でそれが他の町ではできてないんです。もう全部そういう支援体制が無くて全部、館が担っているところなんです。基本的な部分では、公民館長、網野地域公民館がやり、それを支援する組織がちゃんとあるのが網野町ということになります。

委員 弥栄も以前はあったような気がするんですけども。どこもありましたよ。

事務局 大宮町と丹後町以外は一応支援する組織はあるんですけども、網野学園については、特別に 500 円徴収されていておりまして、丹後町と大宮町以外は、運営委員会自体はあります。

委員 それとですね、弥栄の内容見ていましたら、丹後町合同企画だとかなんか毎月独自ではない。それと何かの講演とか何かをやるんで行く人は見るだけみたいな形ではなく、参加型の何かそういう内容。ただそこに行って聞くだけとかいうことでは消化不良じゃないかなという感じはしないでもないんですけども。その名前の問題ももちろんあり、あるかもわかりませんが、年寄りが高齢者と言われても、私も高齢者と言われる年齢になっていますけれども、あんまり自分では高齢者だと思ってないんですけども。ちょっとその辺も企画のあり方等も検討がしていただけたらと思います。

中山議長 いろいろと意見が出ていますけれども、その他ありますか。公民館も次から次へと大変なんです。毎年あるので良い企画をしようと思って必死でやっておられると思うんですけど、また地域の人で良い意見があったら教えてあげて欲しいなとは思っています。

委員 6月だったら大宮・弥栄・久美浜、7月だったら峰山・網野・丹後となつとるんですが、これは例えば6月だったら大宮・弥栄・久美浜で1つ、どこかが1会場でやるという意味、そうじゃなくて、ですか。

事務局 これは3会場設けようと思っています。5月、6月だったら大宮・弥栄・久美浜それぞれで7月は峰山・網野・丹後。そういう感じで、3町でやっているという形をとりたいと思っています。

委員 その3町でそれぞれの会場でやるという、同じ内容をですか。

事務局 内容はそれぞれ違う形でしたいなと思っています。別の日で同じ日にはならないと思います。そこにお時間がある方は、来ていただいとて思っています。

中山議長 ありませんか。今日初めてみたいなのでまた意見がありましたら事務局の方に今日の会議じゃなくてもいいので、また言ってあげて欲しいなと思つています。一応ここでこの件については終了させていただきます。

協議事項 (4) 新たな地域コミュニティにおける地区公民館活動について

中山議長 続きまして協議事項(4)新たな地域コミュニティにおける地区公民館活動について事務局より説明をお願いします。

事務局 (事務局説明)

中山議長 今説明して頂きましたけれども、質問とか意見ありましたらお願いします。もうこれに7年度には行くんですね。

事務局 市の計画の中で7年度を目指して、令和3年度地域コミュニティ推進課ができて、その中で目標としているのが7年度完全移行ということで、地域コミュニティ推進課と我々生涯学習課も一緒になって進めていこうと思つております。

委員 3点ほどあります。4ページに目指す姿ということで若者や女性など多様な人材の参画を促すというのがあるんですが、現状はそういうことが出来ない。だからそれをどうやってするのかについて、どういうお考えをお持ちなのか、それはもうそこで考えるということなのか。本当に区の人材もいない。私も今、地区公民館の仕事をやっておりますけれども公民館の人材問題がかなり苦労しております。それから7ページ。支援策等についてということで、これまでとこれからというふうに書かれておりますけれども、自治公民館活動交付金が地域コミュニティ活動交付金になった場合に、やることは多分これ増えますよね。公民館だけではなくコミュニティになると、もっといろんなことが入ってきますから額が増えるんですね。活動交付金の要綱もまだ無いのかもわからないんですけど、そういうものはないとどういうことができるのか。それからお金がどれくらい出てくるのかということが、かなり関わってくるんです。その辺がどうなのかということがお聞きしたいです。お願いします。

事務局 今、のご意見にありました若者や女性の活躍ですね。これは、本当になかなか難しく区という組織であれば、世帯主や隣組長とか大体そういった方が皆さん役員を順番にやられてだとか区の方から選ばれた役員さんが中心となってやっていくわけですけども、新たな地域コミュニティの中ではこういった若者の方の会議だとか若者の方からの役員、世帯主さんばかりでは無い方からも意見を求められるような組織づくりをしていただいとて女性ばかりの会議であつてもいいと思つています。

地域によって、もっとこういうことがあれば私たちも参加しやすいのにとちよつと今こういうことで困っているんだというような部分が直接、男性ばかりの会議ではなくていろんな方が会議に参加して言いやすい場を設けたりすることによって、若者や女性の意見を受け入れられるんで、それがしっかりその地域の計画の中で事業として成り立っていくような組織づくり、それが新たな地域コミュニティにならなければ今までの区と一緒にじゃないかとい

うようなことになろうかと思しますので、そういった部分の取り組みを広域でまたそれがさらにやられることによって、いろんな地域の若い方で、今まではそういった公民館活動とか区の方には出てなかったけど、ちょっと行ってみようかなと思えるような集う場とかそういう場所をいろんなところで地域で設けてもらって、そういった意見が反映されるような形になればなと思っております。

それが現実難しいのかもしれませんが、そのためにいろんな新たな地域コミュニティの活動交付金の中では、地域マネージャーというような人が主体となって、他所ではこんな取り組みをしているとか、そういった部分をしっかりとお示しをさせていただき、そういった中でもっとこんな形ができるんじゃないかという部分を、新たな地域コミュニティで活かせるようになっていかないといけないなと思っています。

あと、地域コミュニティの活動交付金今までの自治公民館活動交付金の中で各地区公民館が活動していただいて使っていたお金には、主事さん、館長さんの手当等も入って分配をさせていただいております。それプラス、やることは確かに広域の連携になりますのでそこで少し増えるのかもしれませんが、その部分は今やっている部分を基本ベースとしてまずは継承していただきたいなというふうに思っています。公民館活動をベースとしてやっていく中で、それ以上にもっとこういったことできるんじゃないかという部分が増えていって、地域の活性化に繋がるようなことになれば一番いいなと思っています。

無理にこれとこれをやってみようかというんじゃなくて地域がこの複合型地域プロジェクトに取り組もうとかそれから持続可能な地域づくり、この地域マネージャーさんもやっぱりやってみようとか、というように取り組まれるということになりましたら、それをしっかりと支援の加算分も使っていただいたりすることもできます。

そのお金の部分でいうと限られた予算内ではあるんですけども、今それぞれの試算はもう地域コミュニティ推進課の方で出ております。地域コミュニティ活動交付金につきましても、大体この地区だと幾らかというような試算も出ておまして、今地域の方にそれぞれのチームが説明に行かしていただいているところでして、その地域がやるということにならないとなかなか進まないのということはあるんですが、まずは基本的にはその地区の公民館活動というのをしっかりと継続してやってもらう中で、こういった新たな地域コミュニティにできるところをどんどん広げていくということで進めていきたいと思っております。

委員 1 公民館の交付金が今、例えば私の地区公民館では 83 万円もらっているんですが、それが減るといったことはないんですか。

事務局 今、試算の額をお示しする資料をこちらで持ってなくて、地域コミュニティ推進課の方でこの交付金の要綱も全部出ておりますので金額の方は後程ご説明でも大丈夫でしょうか。

委員 昨日地域公民館で館長主事会議がありましてこのお話が、お聞きしたんですけども、その時も交付金の要綱等は持って来られませんでしたし、聞いてもはっきり分からないみたいなの。それとやっぱりその地域にまだこの中身が住民のところにはしっかり届いているのかと。言いますとピラが入っていたり、というのは確かにあるんですけども説明がされるようなことが実際にはないので、住民の方たちがそのことがどこまで分かっておられるのかが、それで 7 年からはスタートすると言われても公民館は無くなりますよね。公民館というその先ほどの久美浜の組織は公民館というのは確かに残っているんですけども、それは別に残さないといけないということになっているわけではないですよ。だからお願いで今の地区公民館的な活動をやってくださいよ。ですから、前回の会議でもお尋ねしたんですけども、人権学習がこれまでは地区公民館では必須事業となっていましたけれども、それももう縛りはかからないという。お願いでやってくださいね。ということでは人権学習の継続は多分なかなか難しいんだらうなと思うんですけども。ちょっと不安が全体を見たときに、各町の進み具合について、お話を聞いてもやっている所とそうでない所があったり、その辺がお金のことを言うとなんか嫌らしいんですけどいかがでしょうか。

中山議長 新しいコミュニティのイメージがちょっと狂ってきました。前は小さい区があつて成り立た

ないので区以上のものを作ろうっていう。これで見ると、そのままみたいで今のままでやろうと思ったらできるんです。うちは去年まで区長しとったんでこれからはもっと区を超えたものを作らなければならないので、今年事務員だけでも置いて、各区の14、15、16、17、18の会計だけお金集めてその事務員に全部してもらおうかと今年4月からそうしようかって言っていた。だけど私は区長を辞めたので、この前聞いたら1つも進んで無い。どうするんだろうとさっきため息が出たんですけど、方向性としては区でやったこともみんなであっていうふうにそこにそれぞれ部を作ってやっていこうってことですね。だから今までの公民館とはちょっと違うものになってくるんでね。

事務局

ちょっと広い範囲捉えて頂いて広域で連携して同じ地域課題を解決、組織を作っていきたいと思っています。その中でまだお金の部分とか説明が足りない部分はあるかと思いますが、しっかりと説明をさせていただいて委員さんがおっしゃる通り、今まで人権っていうのは地区公民館の必須科目としてお取り組みいただいて、各地区公民館単位で頑張ってる人権活動人権学習の場を設けていただいていたいました。人権学習はどのようなことをして、どんなことをしたらいいのか、とお問い合わせもよくいただいております。それが必須から外れると、なかなか取り組んでいただくことが難しいのかもしれないんですけども、我々もいろんな人権の指導者研修会などにも行かせていただいております、本当にいろんな部分で考えさせられることが多くて、それをただその必須が外れたからもうしなくていいではなくて、なぜ人権学習をしていただかないと、地域の方々がいろんな方が、いろんなことに困られることがないように、人権学習というのはしっかりとやっていただけるようにしっかりお願いはしていきたいなと思います。

お金の部分は各地域で試算を出して、今だったら区長さんとかにご説明をしている所かとは思いますが、まだまだ足りないという部分はまた地域コミュニティ推進課と一緒に検討したいと思います。

中山議長

他に何かご意見ありましたら。かなり難しい問題で、峰山町がどうなるのかも心配でたまらないです。

委員

私は久美浜の湊地区で新たなコミュニティで動き出して途中まで行って、今までだったら湊宮区に女性が出るとか若い子が出るのもほとんどありえなくても、60代以上の人が全部役を区長さん中心にやっていたんですけど、そのコミュニティが始まってから私たちも少しずつ出番が呼んでもらえるようになったので、社会教育委員だからって募集があった時に手を挙げたんです。誰か入りませんかと言われて、最初は女性が1人と事務員さんと2人だけだったんですけど、この前からチーム湊っていうことで定例の会議を開きますけど女性が一気に増えて今5人と。それでチーム湊に入れてもらって会議をさしてもらっています。あと別に若い30代の子たちが中心で、お祭りを年に1回か2回して、若い子たちだけのチームがあって、その若い子たちのチームはチーム湊には入ってないんですけど、それはそれで動いて区全体で今動いていて、ちょっとずつ動き出していい感じにはなっているんですけど、ただこれをきちんとした今、その先その先を今考えておられて、その先に組織としてきちんとした時にはきっと多分女は外れるんだろうなと思いつつ見えています。

今公民館の主事をしている人に全体の事務局がして欲しいとかがあっていろんなことを今話し合っておられるようですが、そこから先がこのきちんとした組織図を作るっていうときになったときに、やっぱり人材が少ないし今若い子たち、自分たちのチームだけ動いている子がこの大きな組織図に乗ってくるかどうかという問題もあるのかなと思いつつ見えています、せっかくなので動きが出ているのでそれが良いように行くといいなと思いつつ参加させてもらっています。

明後日も学生が入ってくるようになっていて、観光業の勉強として民宿の手伝いに来てくれるそうので地域で動き出しております。

中山議長

かなり進んでいるってことでどんどんいってもらったら嬉しいです。私も17区だけでは女の人を、5人中2人は女性にしましたので、これからは絶対女性が必要だっていうことで、

やっぱり頑張ってくれています。

丹後町の方でもかなり進んでいるってことを聞いているんですけども、ただ進んでないところはあるので、補助金があと1年しかないんで、これから後1年どうなるんだろうと思っています。

事務局 これは交付金ですけど、今補助金がありますので今のステップへ入っていただいているところは、いろんな部分で先進地を見に行ったりだとか、いろんなところの話を聞く中で地域が本当に活性化しているなと感じています。島津地区さんもすごく頑張ってらっしゃって、移住者が増えてたりだとか、まずは今補助金とかそういった部分がありますのでご利用いただいて、地域として将来のことを考える中で、地区公民館活動についても継続的に進めるよう考えていただきたいと思います。

議長 本当に難しい問題だけど何とかしなければ進みませんので、あと期限が迫っているので何とかしたいです。皆それぞれの地域でまた頑張って欲しいなと思います。結論みたいなことはできませんけど、次行かしてもらいます。

報告事項 (1) 令和5年度「丹後地方社教委連だより」について

中山議長 続きまして報告事項(1) 令和5年度丹後地方社教委連だよりについて、事務局より説明をお願いします。

事務局 今年も丹後地方社教委連だよりを作らせていただこうと思っております、11月30日にはその編集委員会という会議が宮津でありまして、今年も山副委員さんに編集委員をお世話になりたいと思います。よろしくお願ひ致します。それから毎年原稿投稿ということで、どなたかの活動を社教委連だよりの方に載せていただきたいなと思っております、そんな中で和田委員さんの地域での活動を少しまとめていただいて、だよりの方の原稿をご投稿いただきたいと思ひます。

30日の会議が終わってから丹後教育局の方からご連絡があつて、この用紙でこんな感じでみたいと言われると思ひます。昨年は折戸委員さんにお世話になり、その前は菅生委員さんにお世話になりまして、順番にお世話になっておりまして本当にありがとうございます。

本年度につきましては、和田委員さんにお世話になりたいなと思っております。あとこれは別で午前中視察をいただいて、委員の皆さんと本当にいろんなご意見を頂戴するグループワークさせていただきました。そんな中で、やっぱり前よりも集まる機会が少し減ったねと、会議の年間3回ぐらいで寄ることがなくなったねというようなご意見もいただいております。また皆さんでこの会議とは別ですけども、少し寄ってお話がいただけるような会を設けてはどうか、そういった中でいろいろご意見もいただきながらやらせてもらいたいなと思ひ思っております。事務局の方でまたご案内をさせていただきたいなと思っておりますので、その中で今日のご意見もちょっとまとめてご報告をさせていただきたいなと思っておりますので、よろしくお願ひ致します。事務局からは以上でございます。

その他

中山議長 その他、皆さん方から何かありませんか。次回はまた第3回は全員参加をお願いしたいなと思ひます。無いようでしたら閉会挨拶を藤原副議長さんをお願いしたいなと思ひます。よろしくお願ひ致します。

閉会あいさつ 京丹後市社会教育委員会 副議長

中山議長 本日は午前より管内社会体育教育施設の弥栄町ですが、視察及びグループ協議、午後は第2回の社会教育委員会という長時間にわたりまして視察、グループ討議、その他のご審議を頂きましてありがとうございました。午前の見学をしまして、その見学の振り返りで弥栄の社会体育教育施設等見せて頂きまして、今日の会議の図書館図書室の問題等も関連も

ありまして非常に参考になったのではないかと思います。

またグループ討議の中では先ほど議長さんが言われましたけれども、丹後町の橋垣委員さんのお寺で精進料理を食べる会をやるというお話が出まして、やはりこの会議の場だけではなかなか委員さん同士で話をするということも限られますので、そういった場所も必要かなということで、そのお話だったと思います。

それから討議の中では、グループ討議の中では社会教育委員が地域の中で見えない。今、民生委員さんは市の広報でも見える化ということで名前が出たり、どういうことをされているとかそういった広報はされているんですけども。社会教育委員の場合はそういうことはなし、周りの方は誰が社会教育委員なのか分からないということがあります。

それと社会教育委員自身がそれぞれで研究テーマを設けてやってみる必要があるのではないか。そのことによって地域からも、あの方達はこういうこともやっているんだというようなことで、見ていただけるのではないかというようなことも出ておまして、非常に良い内容であったと思っております。

また、今後もこういったことも是非していただけたらと思いますし、今日は長時間ご苦労さまでした。ありがとうございました。

中山議長 それでは、本日の会議はこれで終了とさせていただきます。本当に1日どうもありがとうございました。